

ハザード情報の閲覧方法の拡充について

1 概要

区では、自然災害に見舞われたときの被害を低減するため、最悪の被害となった状況を想定し、6種類のハザードマップ(①液状化、②揺れやすさ、③津波、④浸水、⑤高潮浸水、⑥土砂災害)を作成しています。

この情報をよりわかりやすく区民等に周知するため、新たに2つの閲覧方法を追加しました。

(1) 都市計画情報提供サービスでの閲覧

インターネットからアクセスできる「都市計画情報提供サービス」に、6種類全てのハザード情報を搭載しました。

住所や地図上でのクリックなどの検索で、用途地域や容積率などの都市計画情報に加え、6種類全てのハザード情報を入手することができます。

(2) PLATEAU (プラトー) での閲覧

国土交通省が主導する3D都市モデル「PLATEAU (プラトー)」に、6種類全てのハザード情報を搭載しました。

3次元での立体的な視点や目線の高さによる水の深さの体験など、2次元の地図情報では得ることができなかったハザードの脅威を臨場感ある映像で閲覧することができます。

PLATEAU(プラトー)とは (参考資料)

PLATEAU(プラトー)は、国土交通省が自治体や様々な業種の企業や団体などと連携して推進する、日本全国の都市デジタルツイン実現プロジェクトです。

2020年のスタートから、都市活動のデータの3D都市モデルとして整備が進んでいます。

PLATEAU(プラトー)は、3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化を通じて、様々な分野で地域の課題解決や新たな価値創造をもたらし、まちづくりのDXを進めることを目的としています。

2 公開日

(1) 都市計画情報提供サービスによる閲覧

令和6年4月1日

(2) PLATEAU による閲覧

令和6年3月29日

※どちらも区のホームページにリンク先があります。

3 閲覧ページの画像

(1) 都市計画情報提供サービス (高潮浸水想定モデル)

ア 検索画面

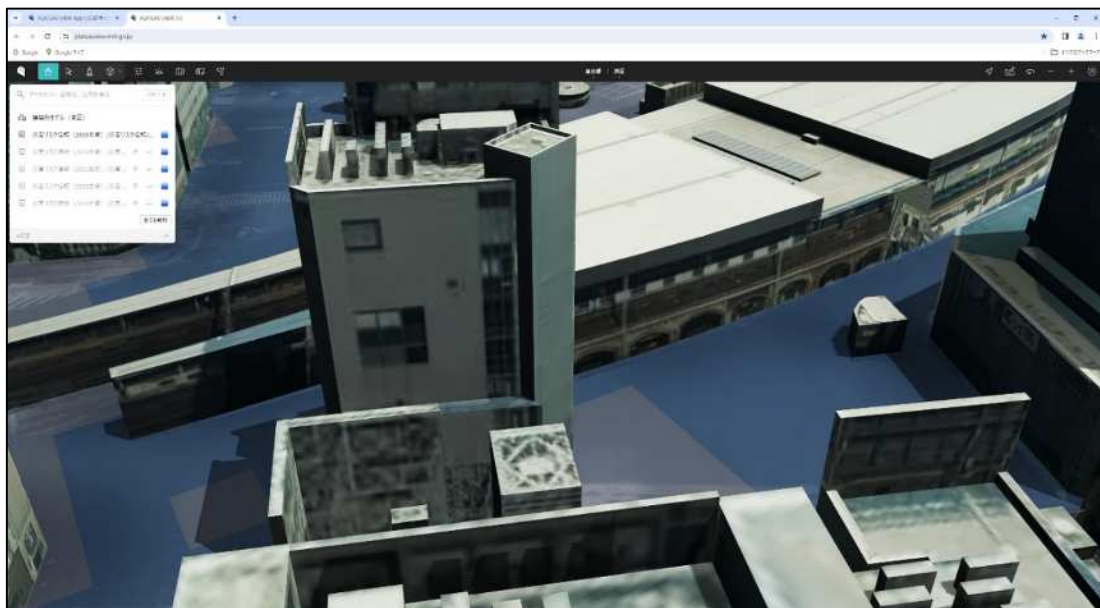


イ 出力画面



(2) PLATEAU (高潮浸水想定モデル)

ア 鳥瞰イメージ



イ 水の深さ体験イメージ

